

様式2 管理運営状況評価書

【対象年度:平成24年度】 (⑤その他の施設)

1 施設概要・利用情報 (単位:人、%、円、日)

番号	17	施設名	掛川市健康ふれあい館		担当課名	商工観光課
区分			内容 ・ 説明			
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市健康ふれあい館条例				
	(2)施設設置目的	地域産業の振興並びに市民の健康増進及び福祉の向上を図るため				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	温泉館／延床面積 2, 353㎡ 鉄筋コンクリート一部鉄骨造 大浴場・露天風呂・ハーブ湯・サウナ・水風呂・温水プール・子供プール・家族室 物産館／延床面積 428㎡ 鉄筋コンクリート造 物産販売				
	(4)施設建設年度	平成10年度				
	(5)耐震性能の有無	あり				
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)					
	(7)指定管理者名	公益財団法人 掛川市生涯学習振興公社				
	(8)指定期間	平成23年 4月 1日 から 平成28年3月31日 まで				
	(9)施設の管理運営形態	③指定管理料＋利用料金併用制度				
	(10)自主事業の有無	☒ 実施あり ☐ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況を3－(3)欄に記入のこと。				
(11)指定事業の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況を3－(3)欄に記入のこと。					
(12)事業報告書提出の有無	☒ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) ☐ 提出なし					
(13)利用者満足度調査等実施の有無	☒ 実施あり ☐ 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成24年度)					

区分			H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数		243,088	238,091	228,280		
	施設・設備ごと		243,088	238,091	228,280		
	(2)稼働率(利用率)						↓ 備考欄に算定式を記入してください ↓
	(施設・設備ごと)	A平日昼間					
		B平日夜間					
		C土日祝昼間					
		D土日祝夜間					

2 利用状況	(施設・設備ごと)		A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		319	324	426			
	(3)運営日数		315	315	314	314		
	(4)運営人員	①正規職員	3.0	3.0	3.0	4.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	18.0	19.0	17.0	17.0		

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分			H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
	①人件費		54,594,522	53,131,498	50,305,093	52,496,000	
	②印刷費		98,070	216,720	0	122,000	
	③通信費		514,591	563,570	542,170	557,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	5,896,314	7,519,997	4,720,500	7,533,000	消耗品費、旅費
	⑤借上料	9,159,414	8,595,465	9,092,630	8,880,000	賃借料
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	24,102,710	26,532,348	25,052,702	23,380,000	保険料、消費税、入湯税
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	5,410,632	5,158,288	7,521,310	7,647,000	原材料費、広告費、食料費、備品費、手数料、負担金、使用料
	計	99,776,253	101,717,886	97,234,405	100,615,000	
	対前年度増減率		1.9	△ 4.4	3.5	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	15,507,183	14,214,689	17,919,796	17,081,400	
	委託料(保守管理)	15,507,183	14,214,689	17,919,796	17,081,400	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	7,553,943	6,915,134	4,108,795	5,295,000	
	③光熱水費	32,801,791	41,728,936	46,025,556	45,050,000	H23～重油料込み
	④燃料費	10,939,344	380,455	381,332	340,000	
	⑤清掃費	0	0	0	0	人件費、委託費に含む
	⑥保守点検費	3,924,900	3,918,600	3,918,600	3,918,600	車両(温泉バス)
	⑦その他(施設消耗品)	2,507,740	2,507,740	0	0	
	⑧印刷費	587,480	0	0	0	
	⑨借上料	185,921	0	0	0	
	⑩基金積立金	6,847	0	0	0	
	⑪その他	60,581	0	0	0	
	計	74,075,730	69,665,554	72,354,079	71,685,000	
	対前年度増減率		△ 6.0	3.9	△ 0.9	

(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)	173,851,983	171,383,440	169,588,484	172,300,000	
(4)合計のうち運営コストの割合	57.4	59.4	57.3	58.4	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	109,249,630	105,786,310	101,230,800		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	109.5	104.0	104.1		

3 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設使用料収入	109,249,630	0	0	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	102,239,000	0	0	
収支差額 a)－b)	7,010,630	0	0	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設利用料金収入	0	105,786,310	101,230,800	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a－トータルコスト)	0	△ 65,597,130	△ 68,357,684	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)	0	55,140,000	57,806,000	

(3)指定事業及び自主事業の状況

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 指定事業の収入	0	0	0	
b) 指定事業の支出	0	0	0	
収支差額 a)－b)	0	0	0	
c) 自主事業の収入	0	1,114,800	960,000	
d) 自主事業の支出	0	1,069,826	858,177	
収支差額 c)－d)	0	44,974	101,823	
e) その他事業の収入	0	8,725,493	7,959,400	マッサージ等手数料・飲食物販収益等
f) その他事業の支出	0			
収支差額 c)－d)	0	8,725,493	7,959,400	

4 施設管理所管課(市担当者)としての見解と改善提案

検討項目	現状分析と課題	左記課題を解決するための改善提案(いつから、誰が、何を、どうする)
(1) 施設の収支差額の改善について 【行革推進係から】 いくら公の施設とはいえ、毎年巨額の収支差額を生じ、不足分を市民の税金で賄うことが果たして適正な経営といえるのでしょうか？ 知恵と工夫により、少しでも収支バランスを改善することを念頭に、類似施設の統廃合も含めて、施設運営のあり方を考えましょう。	平成23年度利用料金制に移行したことにより、効率的な運営に努めている。 しかし、料金が、500円／人のため、内入湯税が100円、1人400円以上のコストがかかっているため、経営が苦しい。	週末利用者が多く、収容人数の限界も心配されるが、利用者数の増加を図る。 好調なグランドゴルフを、敬老会などへのPRに努める。
(2) 利用者数の増加について 【行革推進係から】 一部の人がしか使わない割りに、毎年たくさんの指定管理料が支払われていますか？ より多くの利用者を獲得するために、市としてどんな事業展開を考えますか？	市民の健康増進のために設立され、現在も正式名が「健康ふれあい館」となっているため、目的が市民の健康のためなのか、観光なのかははっきりしていない部分がある。 観光として、外からも多くのお客様に利用していただくには、施設の整備が必要である。	確かに、何度も利用する地元利用者が多いが、遠州灘付近でのスポーツ参加者などにも温泉施設は、喜ばれている。スポーツ大会誘致や参加者へのPR等により、利用者の増加を図る。 また、温泉施設と飲食物販部門の連携を強化し、遠州灘に隣接していることや、グランドゴルフ施設の環境が優れていることから、他の温泉施設との差別化・独自ブランド化を図る。
(3) 利用者の満足度向上について 【行革推進係から】 市の政策目的の達成に見合う事業が行われているでしょうか？ 毎年決まった事業内容やイベント等でなく、利用者の関心を引きつけ、魅力ある施設運営をめざしましょう。	水中機能改善教室、アクア教室、グランドゴルフ大会等の開催などの取り組みを行っているが、例年続いてきているので、新たな取り組みが必要である。	平成23年度より「(公財)掛川市生涯学習振興公社 健康づくり実行委員会」が、健康ふれあい館の施設を利用した様々な健康づくり事業を企画実行し、市民の健康福祉の増進を図るために設立された。この委員会で、市内外から、多くの誘客を図るための事業・イベントを検討・企画していく。

5 その他自由意見